

意見：高校進学の際の学費が心配。ふるさと納税は子供の教育に投資してほしい。奨学金の内容を拡充してほしい。

回答：ふるさと納税による事業は、「子どもなど将来の社会の担い手の育成」を第1項目として掲げています。
現在、奨学金の利用者が少なく貸付金よりも償還金の方が多い状況で、基金に余裕がありますので現行の貸付金額を増額することは可能です。

教育・子育て

意見：地域にあっても都会の子供達に負けない学力をつけさせてあげたい。公営塾などがあつたらいい。

回答：現在、公営塾の開設について検討を進めています。



意見：医師会へ週1回、小児科のドクターが来て、ワクチンを接種してほしい。産婦人科や小児科を町に誘致できないか。

回答：ワクチン接種については、かかりつけ医に相談してください。町内にもワクチン接種のできる医院が2カ所あります。町としても子育て支援についてさまざまな取り組みをしていますが、小児科・産婦人科の誘致については、ここ数年、年間40名前後の出生数で推移しており、厳しいと考えています。

意見：ヘルパーの待遇改善に取り組んでほしい。介護の担い手不足は深刻である。

回答：介護の担い手不足につきましては本町だけでなく日本全国で深刻な課題となっており、錦江町社協でもヘルパーの待遇改善に取り組んでおりますが、なかなか担い手不足の解消に結びついていないのが現状です。町として、担い手を確保するための方策を社会福祉協議会と連携し、解決の道筋をともに考えてまいります。

医療・福祉・介護

意見：家族会の方や高齢者が気軽に集まっておしゃべりやお茶のみができ、保健師が常駐しているようなカフェができたらいい。

回答：8月から認知症カフェを月1回田代保健センターで開催いたします。状況を見ながら開催場所を増やしていきたいと考えております。また、現在、47自治会でサロンが開催されており、各サロンの依頼により、脳若トレーニングなどの健康講座を実施しております。

意見：介護の方法について、地域住民が基礎的な介護方法を習得し、介護度の軽い方を地域で支える仕組みができたらいい。

回答：貴重なご提案ありがとうございます。本年度中に講習会等を実施いたしますので、ぜひ多くの方にご参加いただきたいと思います。



交通・買い物



BUS STOP

意見：鹿屋の高校に進学した場合、部活をさせると毎日送り迎えをしなければならず負担が大きい。

バスの運行時間の見直しを行うなど、有効な対策はないか。

回答：バスの運行時間の見直しは、なかなか厳しいようですが、通学生・高校等の要望を踏まえながら、運行会社に要望してまいります。

意見：車を運転できるうちはいいが、運転ができなくなった時、病院・買い物等へ行く際の移動手段が不安である。コミュニティバスは大型でなくても小型でよいのでは。無料でなく、有料でも運行回数を増やしてほしい。

回答：車が運転できなくても、安心して地域で住み続けられるよう、コミュニティバスの充実などを本年度中に検討してまいります。